

# 2015 年 JUMP 全体報告書

● 岩手大学 環境マネジメント学生委員会 .....	3
● 工学院大学 環境 ISO 学生委員会. 常任委員会 .....	7
● 島根大学 学生 EMS 委員会 .....	12
● 信州大学 工学部環境 ISO 学生委員会 .....	15
● 信州大学 松本キャンパス 環境 ISO 学生委員会.....	19
● 三重大学 環境 ISO 学生委員会 .....	21
● 公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会.....	24

# 2015年 JUMP 報告書

代表者：駒井晴夏

参加団体名：岩手大学 環境マネジメント学生委員会

## ◆清掃概要◆

【日時】：平成27年7月4日9時00分～12時30分

【参加者数】：28人（連携団体も含む）

【清掃場所】：岩手大学内及び周辺地域（5ルートに分かれてごみ拾いを行った）



## ◆集めたごみの総量と種類別の重量◆

・総量：16.13kg

### 【詳細】

- ・燃えるごみ： 4.58kg
- ・不燃ごみ： 10.7kg
- ・プラスチック： 0.85kg
- ・ビン： 3本
- ・カン： 22本
- ・ペットボトル： 16本

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

(良かった点)

- ・メンバー間の連絡がスムーズに行えた
- ・滞りなく事前準備ができた
- ・時間配分が良かった
- ・ルートの決め方が良かった

(悪かった点・次回への改善点)

- ・話し合いの結果の共有不足
- ・班同士での進行状況などの把握ができておらず、情報の共有ができていなかった  
→連絡の徹底
- ・計画性がなかったため、直前に慌ててしまった
- ・何を準備したら良いのかわからなかった  
→班同士でチーム会議以外の場を設け、話し合いをする必要がある  
→今回の経験を通して、それぞれ段取りがわかったと思う

【広報戦略】

(良かった点)

- ・早めにごみ拾いの連絡を行うことができた
- ・メーリングリストを活用した
- ・直接出向いて広報を行った
- ・留学生向けのポスターを制作して掲示板で周知した
- ・ごみ拾い中にT w i t t e rを更新して様子を伝えた

(悪かった点・次回への改善点)

- ・ごみ拾いの結果をまとめたものを、他団体に配布できれば良かった

【当日運営】

(良かった点)

- ・ミッションが好評だった
- ・廃棄物に関する良い問題をクイズとして出せた (例 あつこ弁当の回収率)
- ・各班が自分の役割をこなしていた
- ・他団体との交流ができた

(悪かった点・次回への改善点)

- ・ 物品の受け渡しの際に当日時間を決めていた  
→当日のスケジュールを細かく決めておくこと
- ・ チームごとに帰ってくる時間がバラバラだった  
→今回のデータを参考に、下見をしっかりと行う
- ・ 全体的に時間が押してしまった
- ・ 集計・採点等の時間配分がうまくできていなかった  
→楽しさ班でリハーサルをするべきだった  
→時間配分についてはもう少し話し合おう

#### 【事後処理】

- ・ ごみ拾いの結果を廃棄物チームのチーム会議で公表し、周知した。

#### ◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

雨天のため翌日に延期となりましたが、30人近くもの参加者が集まり、楽しみながらごみ拾いを行うことができました。今回は、「楽しさ」の要素としてポイント制を導入し、ごみ拾いをしながらミッションをこなしていく形式を取り入れました。これらは初めての取り組みでしたが、参加者が交流し合い笑顔で楽しんでいる様子が見え、改善点も結構出たので、次回のごみ拾いではこの経験を活かして、更に充実したごみ拾いを実行できればと思います。

#### ◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

#### ◆その他 (JUMP 時の写真・活動時の写真など) ◆





ご協力ありがとうございました  
公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

# 2015 年 JUMP 報告書

代表者：平岡 紘次

記入者：牛流 礼智

参加団体名：環境 ISO 学生委員会、常任委員会

## ◆清掃概要◆

【日時】：2015 年 7 月 4 日 11：00 時 分～12 時 00 分

【参加者数】：13 人（連携団体も含む）

【清掃場所】：（以下にルート\*を記載）

（参考）\*ルートは地図をキャプチャーしてペイント等を用いてルートを作成する。



◆集めたごみの総量と種類別\*\*の重量◆

(参考) \*\*種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

- ・総量：2.22kg

【詳細】（例）

- ・燃えるごみ：0.63kg
- ・プラスチック：0.92kg
- ・資源ゴミ：0.61kg
- ・小型破碎ごみ：0.0kg
- ・その他：0.06kg（上記以外の区分のごみ、区分外のごみなど）

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

（良かった点）

- ・自分で歩いてルートを確認し、迷わないようにできたこと。
- ・ゴミを入れて運ぶバケツを滞りなく準備できたこと。

（悪かった点・次回への改善点）

- ・他の委員会との連携がうまくとれていなかったこと。

【広報戦略】

（良かった点）

- ・他の委員会と行っている活動の中で周知ができたこと。

（悪かった点・次回への改善点）

- ・学校への申請をを忘れてしまい、大きく広報活動ができなかったこと。

【当日運営】

（良かった点）

- ・大きな問題も無く無事に終わられた。
- ・参加してくれた団体にアイスを振舞えた。

（悪かった点・次回への改善点）

- ・他の委員会との情報の共有がうまくできず、欠席連絡が入ってこなかった。

【事後処理】

- ・学校指定の場所に似て廃棄

◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

去年は雨で中止になってしまったので、今年は活動できて良かったです。また、他団体と連携できたことも良かったと思います。しかし、自分の手違いによるミスが多かったので、そちらは来年に生かせるようにしようと思います。

◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

◆その他（JUMP 時の写真・活動時の写真など）◆





ご協力ありがとうございました  
公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

# 2015年JUMP報告書

代表者：齊藤 夢美

参加団体名：島根大学学生EMS委員会

## ◆清掃概要◆

【日時】：2015年7月4日10時00分～12時30分

【参加者数】：13人（連携団体も含む）

【清掃場所】：宍道湖周辺（以下にルート\*を記載）

（参考）\*ルートは地図をキャプチャーしてペイント等を用いてルートを作成する。



## ◆集めたごみの総量と種類別\*\*の重量◆

（参考）\*\*種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

・総量：60kg

### 【詳細】

・燃えるごみ：35kg

・プラスチック：20kg

・その他：5kg（上記以外の区分のごみ、区分外のごみなど）

## ◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

### 【準備段階】

（良かった点）

・火ばさみとごみ袋が人数分足りた。

・火ばさみは学生支援課から貸していただき、ごみ袋は松江市役所から支給していただいた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・募集期間が短かった。  
→もっと早くから準備を進める。

### 【広報戦略】

(良かった点)

- ・講義内で活動紹介の時間を設けていただけた。
- ・委員を始め人づてに情報を広められた。
- ・SNS を利用し募集要項を掲載した。
- ・作成したチラシを学内に掲示した。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・広報開始から募集締切まで短く、メールでの申込みはされなかった。  
→早い段階（およそ半月前～一か月前）からメールでの受け入れ態勢を整える。

### 【当日運営】

(良かった点)

- ・時間通り集合し始められた。
- ・多くの可燃ごみやプラスチックを回収できた。
- ・余裕を持って時間通りに JUMP できた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・名簿の記入に手間取ってしまった。  
→事前に名簿記入の時間をとる。

### 【事後処理】

(良かった点)

- ・拾ったごみは、市内のボランティア清掃ボックスにて回収していただけた。
- ・お借りした火ばさみの返却、市役所への連絡等までしっかりできた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・回収したごみの総重量を明確に確認できなかった。  
→最後にまとめる等して全体の量を確認する。

◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

昨年に引き続き宍道湖周辺を歩きながらの清掃となりました。天候も崩れることなく、予想以上の量・種類のごみを回収し JUMP することができました。楽しく活動できたという参加者の方も多く、この企画に参加して本当に良かったです。来年度以降は準備や広報に更に重点を置いて臨みたいと思います。

◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

◆その他（JUMP 時の写真・活動時の写真など）◆



ご協力ありがとうございました  
公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

# 2015年 JUMP 報告書

代表者：横川 峻汰

参加団体名：信州大学 工学部環境 ISO 学生委員会

## ◆清掃概要◆

【日時】： 2015年7月4日 10時00分～13時00分

【参加者数】：8人（連携団体も含む）

【清掃場所】： 信州大学南側道路沿い及び犀川第二緑地



#### ◆集めたごみの総量と種類別\*\*の重量◆

(参考) \*\*種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

- ・総量： 8.65kg

#### 【詳細】(例)

- ・燃えるごみ： 7.65kg
- ・資源ゴミ： 1.00kg

#### ◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

##### 【準備段階】

(良かった点)

- ・ゴミ収集において、ゴミが落ちていると予想される場所に目安を付けられた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・早い段階で連絡は出来たが事前の広報が力不足であった。
- ・学生会以外参加者を募ってもよかった。

##### 【広報戦略】

(良かった点)

- ・早い段階で参加者へのメールやLINE等の連絡を回すことができた。
- ・予定していたよりも、多くの参加者を募ることが出来た。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・事前の広報が力不足であった。
- ・学生会以外参加者を募ってもよかった。

##### 【当日運営】

(良かった点)

- ・昨年よりも多くのゴミを拾い、清掃場所美化向上に努められた。
- ・特にトラブルもなくスムーズに進められた。
- ・予想していた以上に多くのゴミが集められた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・ゴミが予想より多かったため小型の荷台等を持って行くと良かった。

##### 【事後処理】

- ・すべてのゴミを同じ袋で集めたため後の分別が苦勞した。
- ・ゴミ分別をした結果川辺のゴミはほぼ全て汚れており、缶・ビン以外はすべて燃えるゴミとして捨てた。

◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

・参加者を集めるのが苦勞しましたが、規格が運営できるほどの参加者が集まってくれて本当に良かったです。普段あまり目にしないので気が付きませんでした。2時間弱で8キロを超えるほどのゴミを超えるゴミを拾えるほど、河川敷が汚れていることを改めて痛感しました。来年は、外部にも参加者を募り今年よりも多くの参加者がこの企画に参加して欲しいです。

◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

企画運営お疲れ様でした。本来の環境委員会らしい活動が出来ました。来年も参加したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

◆その他（JUMP 時の写真・活動時の写真など）◆





ご協力ありがとうございました  
公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

# 2015年 JUMP 報告書

代表者：大瀬 皓久 日比野 佑香

参加団体名：信州大学 松本キャンパス 環境 ISO 学生委員会

## ◆清掃概要◆

【日時】：2015年 7月 4日 10時30分～12時30分

【参加者数】：9人（連携団体も含む）

【清掃場所】：女鳥羽川（以下にルート\*を記載）

（参考）\*ルートは地図をキャプチャーしてペイント等を用いてルートを作成する。



女鳥羽川沿い

## ◆集めたごみの総量と種類別\*\*の重量◆

（参考）\*\*種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

・総量： kg

測定しておりません。

## ◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

### 【準備段階】

（良かった点）

・当日道具の不足がなかった

（悪かった点・次回への改善点）

・特になし

### 【広報戦略】

(良かった点)

- ・当日の詳細を事前に伝えることができた

(悪かった点・次回への改善点)

- ・参加の呼びかけが少なかった
- ・当日の実施か中止かの連絡ができなかった

### 【当日運営】

(良かった点)

- ・時間通りに実施できたこと

(悪かった点・次回への改善点)

- ・参加人数が少なかった

### 【事後処理】

- ・ゴミ拾いの後、分別まできちんと行った

### ◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

・女鳥羽川は、見た目は綺麗でゴミも少なかったが、草むらや橋の下など見えにくいところはゴミが多かったと感じた。

・他大学と一緒に活動したことにより清掃活動の規模の大きさを感じ、その一端として活動できたことでモチベーションが上がった。

### ◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

・梅雨の時期と被っているため実施できない大学もあることから、日にちをずらしたほうがよいのではないかと感じた。

### ◆その他 (JUMP 時の写真・活動時の写真など)



# 2015年JUMP報告書

代表者：伊藤 潤哉

参加団体名：三重大学環境 ISO 学生委員会

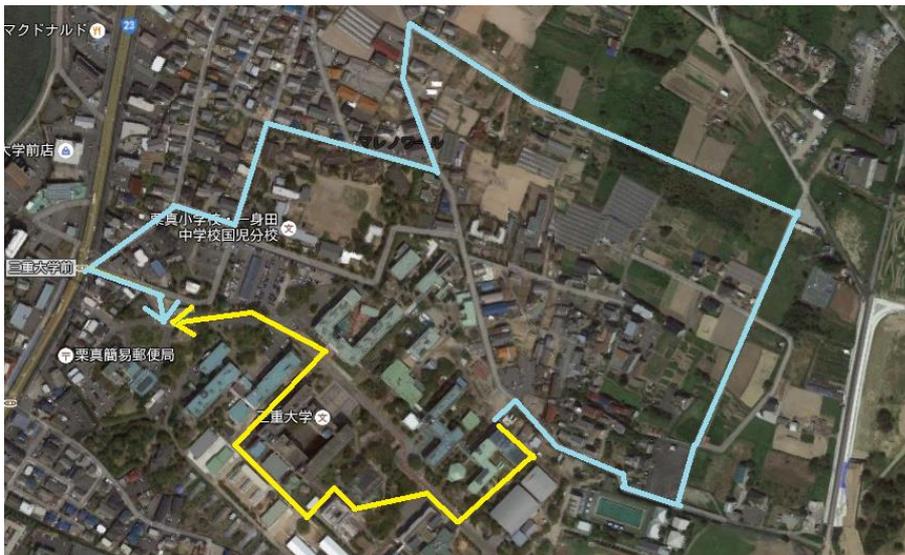
## ◆清掃概要◆

【日時】：2015年7月4日9時40分～13時00分

【参加者数】：30人（連携団体も含む）

【清掃場所】：（以下にルート\*を記載）

（参考）\*ルートは地図をキャプチャーしてペイント等を用いてルートを作成する。



## ◆集めたごみの総量と種類別\*\*の重量◆

（参考）\*\*種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

・総量：22.3kg

【詳細】（例）

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| ・燃えるごみ(学内)：0.7kg                | ・燃えるゴミ(学外)：7.2kg  |
| ・プラスチック(学内)：1.7kg               | ・プラスチック(学外)：2.3kg |
| ・金属ごみ(学内)：5.0kg                 | ・金属ごみ(学外)：2.2kg   |
| ・ビン：1.4kg                       | ・ペットボトル：1.1kg     |
| ・その他：1.7kg（上記以外の区分のごみ、区分外のごみなど） |                   |

## ◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

### 【準備段階】

(良かった点)

- ・毎週、担当者が集まる時間を設けることができた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・清掃ルートの下見を行うことができなかった。

→事前に清掃ルートの下見を行い、ごみの多い場所を特定する。

### 【広報戦略】

(良かった点)

- ・委員会のミーティングで参加者を募ったところ、多くの学生委員が参加してくれた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・参加者への手順書の送付が当日になってしまい、事前に得られる情報が少なかった。

→早い段階から、当日の流れを考えて文書化し、当日に参加者がよりスムーズに動けるようにする。

### 【当日運営】

(良かった点)

- ・堆肥場や町屋海岸清掃の際に通行する道などの委員会活動に身近な場所の清掃ができた。

- ・時間通りにジャンプすることができた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・ごみが多い場所の清掃をより時間をかけて行うべきだった。

→事前の下見でごみの多い場所を特定し、そこを重点的に清掃する。

- ・清掃ルートに関して、勉強会の際に説明なかったほか、地図を持つ学生委員が1人しかいなかったため、活動ルートあまり把握できなかった。

→このイベントに関わらず、広範囲を移動しながら活動する際は、地図を多く擦っておくべきだと感じた。

**【事後処理】**

- ・清掃後、回収したごみの重量を計り、適切に処分した。

**◆JUMP を終えてみての感想・反省◆**

・普段きれいだと思っていた学内に意外とごみが落ちていて驚きました。これからの委員会活動の参考になると思いました。(生物資源学部 1 年生)

・他大学の方と連携して、それぞれの地域で同時に活動をするということがとても新鮮に感じました。(生物資源学部 1 年生)

・次年度以降参加する場合は、今回の反省を生かし、より早めの準備を心がけたいと思う。(生物資源学部 2 年生)

**◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆**

**◆その他 (JUMP 時の写真・活動時の写真など) ◆**



ご協力ありがとうございました  
公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

# 2015 年 JUMP 報告書

代表者：瀬尾 健人

参加団体名：公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会

## ◆清掃概要◆

【日時】：2015 年 7 月 4 日 9 時 00 分～13 時 30 分

【参加者数】：25 人（連携団体も含む）

【清掃場所】：鳥取砂丘（以下にルート\*を記載）

（参考）\*ルートは地図をキャプチャーしてペイント等を用いてルートを作成する。



## ◆集めたごみの総量と種類別\*\*の重量◆

（参考）\*\*種類は自治体・大学独自の分別区分ごとでもごみの種類ごとでもどちらでも構いません。また、大きすぎて重量が測れないものは省いても構いません。

・総量： 74kg

【詳細】（例）

・草： 74kg

◆各段階における良かった点・悪かった点及び次回への改善点◆

【準備段階】

(良かった点)

- ・当日スケジュールが例年のものより細かかった。
- ・各班に仕事を分配できた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・参加者へのメール送信確認ができていなかった。  
→参加者に対してメールの返信を促す。
- ・当日スケジュールの作成が遅かった  
→早い段階での作成をする

【広報戦略】

(良かった点)

- ・参加団体が多かった。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・参加者が予想よりは少なかった。  
→広報の方法や時期を検討する。

【当日運営】

(良かった点)

- ・多くの草を回収できた。
- ・時間通りに JUMP することができた。

(悪かった点・次回への改善点)

- ・ JUMP の準備時間が短かった。  
→準備時間を延ばす。
- ・統括班の人が動きすぎて必要なときに指示を出せる人間がいなかった。  
→代理等を決めておく

【事後処理】

除草の後日、砂丘事務所の方に電話で除草した草の総重量を聞いた。

◆JUMP を終えてみての感想・反省◆

今年の JUMP も無事終わることができました。今回は鳥取砂丘での除草活動をしました。参加者の方から楽しかったという声を聞き、この除草を企画してよかったなと思いました。次年度以降のために新しい広報の方法や、慰労内容等を検討していきたいです。

◆今回の JUMP についてのご指摘・ご要望あればお書きください◆

◆その他（JUMP 時の写真・活動時の写真など）◆



ご協力ありがとうございました  
公立鳥取環境大学 学生 ISO 委員会